

目 次

「臨床薬理」 第 39 巻 第 6 号 2008 年 11 月

特集／臨床応用可能な PGx

巻頭言：ゲノム医療の幕開けとともに	古田 隆久	231
1. 抗腫瘍薬と PGx	家入 一郎ほか	233
2. CYP2C19 遺伝子多型は Clopidogrel 活性体の 薬物動態と抗血小板作用に影響する	梅村 和夫	238
3. Warfarin と CYP2C9, VKORC1 遺伝子多型	高橋 晴美	243
4. Methotrexate (MTX)	橋口 正行ほか	247
5. 消化性潰瘍に関わる遺伝子多型	古田 隆久	254

フォーラム

アジア地域における国際共同試験の現状分析と日本の開発戦略	室山総一郎ほか	261
医学部学生に対する Omeprazole を用いた CYP2C19 遺伝子型と代謝活性 関連の臨床薬理実習 —薬物動態の個体差の理解を目的として—	立石 智則	269

受賞報告 (2006 年度 臨床薬理研究振興財団賞学術奨励賞研究成果報告)

小児・新生児領域における医師主導治験 (新生児けいれんに対する静注用フェノバルビタールを実施して)	河田 興	275
--	------	-----

REPORT

2005 年度日本臨床薬理学会海外研修員報告書 —その 4—	千葉 康敬	281
--------------------------------	-------	-----

第 39 巻 総目次	284
------------	-----

第 39 巻 Key Words	289
------------------	-----

医薬品情報

医薬品・医療機器等安全性情報 No.250	215E
医薬品・医療機器等安全性情報 No.251	217E

投稿規定	219E
------	------

おしらせ

2008 年度日本臨床薬理学会理事および監事選挙の結果について	221E
2009 年度日本臨床薬理学会海外研修員, CRC 海外研修員募集要項	222E